

公益社団法人 諫早市シルバー人材センター

のんのこ

第74号

公益社団法人 諫早市シルバー人材センター

〒854-0045 諫早市新道町948

電話 (0957) 24-5183

<会員数 550名 男 422名 女 128名>
(令和元年11月30日現在)

謹賀新年



「雪の御書院」

理事長新年挨拶



理事長

西原 直之

新年あけましておめでとうございます。會員の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

また、日頃から当センターの事業運営に対し、諫早市を始め関係機関、関係団体の皆様方には多大のご支援ご協力を頂き、大変有難く心からお礼を申し上げます。今年は令和に改元されてから初めての正月となりました。

新元号が発表されたとき、「令和」という美しい響きと、柔らかく優しい字体に多くの国民が親しみを感じたと聞いております。

また、出典が万葉集という日本の古典に由来するという事や「平和や安寧を願う」と言われるその意味に關しても共感された方が多いのではないでしょうか。

昨年9月24日に天皇皇后両陛下におかれましては、公益社団法人日暮区シルバー人材センターをご訪問され、洋裁等のリフォーム作業の様子をご覧になられたことが全国シルバー人材センター事業協会から紹介されました。

両陛下は、作業に取り組むシルバー会員お一人お一人に、お声をかけられ終

始なごやかな雰囲気であったということでした。

シルバー人材センターの関係者にとつて、自分たちの事のように嬉しいニュースとなりました。

さて、昨年6月20日、全国シルバー人材センター事業協会定時総会が東京で開催され、会長など新役員承認等が行われました。

議題において、「生涯現役社会」を実現するシルバー人材センターの決意と支援の要請が決議され各センターで構成市町村へ更なる支援の要望を行うことが決まりました。

当センターでは、10月18日に理事11名が宮本諫早市長と田川諫早市議会議長を訪問し、昭和61年の設立以来、これまでの多大なるご支援のお礼と今後ますますのご支援のお願いを申し上げます。

會員の状況については、減少傾向が続いていることや會員による「一運動」に効果があること、その他に新聞折込などの有料広告より募集活動を行っている事などをご説明いたしました。宮本市長は、市役所周辺等の公共施設で行っている除草・清掃等のボランティア活動のお礼を述べられるとともに、會員の就業については、「非常に丁寧である」とお褒めの言葉を頂きました。

田川市議会議長は、特に會員不足についてご心配をして頂き、今後も協力を惜しまないと述べて頂きました。

市長、議長におかれましては、公務ご多忙の中に面会して頂き理事一同、心より感謝をいたしました。

昨年度を顧みますと、4月の新区長、班長の就任後、5月の定時総会では新理事・監事の承認が行われ、7月には各委員会においても新委員の就任があり、それぞれ提出議題を協議し、意見を交えて諸問題に取り組んでおります。

7月には、會員の連帯意識の向上と地域社会への貢献並びに事業の普及啓発を目的に「斉斉ボランティア活動」が各地区で実施されました。

猛暑の中で作業となり、會員の皆様におかれましては大変御苦勞さまでした。

9月には、台風の接近は程度があつたものの、諫早市では人的被害はなく、秋の風物詩「2019のんのこ諫早まつり」に参加することができました。総勢122名の會員が参加し、血闘りやのぼり持ちチラシ配りを行い、センターのPRを行って頂きました。

また、「事業普及啓発月間実施要領」に基づき、全国のシルバー人材センターと時期を同じうして行う活動として、10月のボランティア活動が各地区の班単位で実施されました。

7月同様、多くの参加を頂き感謝いたします。

今年度上半期の事業実績は、年度当初の5月から8月までは長雨等により、前年度を下回っておりますが、9月の好天により大幅に実績を回復

し、まだ年度途中ではありますが昨年度実績を若干上回っている状態です。

フェスタ実行委員会主催の「シルバーフェスタ」は、会場借用の関係上、2月の開催と決定されております。

同好会による、写真・書・絵画等の作品展や盆栽手芸品の販売、カラオケ同好会による「カラオケ発表会」が計画されております。

一般のお客様には、例年どおりコーヒー喫茶や豚汁・カレーなどの飲食コーナーも設けられる予定と伺っております。

安全就業につきましては、昨年も蜂等による虫刺され事故が多数ありましたが、幸いにして重傷事故は発生しておりません。

保険の申請件数は前年度より減少しており、安全管理が徹底されていることと表れており、今後も引き続き事故の無い事を願うばかりであります。

諫早市シルバー人材センターは、仕事や社会奉仕活動を通して、高齢者が生きがいのある生活を送り、地域社会に貢献することを目標としております。

今後多くの市民の皆様にご賛同を頂くとともに、「會員拡大・就業機会の拡大」に向かって會員の皆様と役職員一丸となつて取り組んでいきたいと考えております。

結びに、シルバー人材センターの益々の発展と會員並びにご家族の皆様方のご多幸を祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

市長新年挨拶



諫早市長
宮本 明雄

新年あけましておめでとうござい
ます。

諫早市シルバー人材センターの皆様方には、お健やかに新春をお迎えのことと謹んでお慶び申し上げます。

会員の皆様方には日頃から各種業務のみならず、ボランティア活動や社会参加活動を通じて安全・安心な地域社会づくりに多大の御貢献をいただいており、市政の推進に格別の御理解と御協力を賜っておりますことと深く感謝申し上げます。

さて、我が国の高齢者人口は増加を続けており、高齢化率は28%を超え、本市におきましては、令和元年11月1日現在29.5%となっております。国が公表した資料によりますと、今後も高齢者人口の増加傾向は続き、令和24年頃にピークを迎え、その後は減少に転じることが見込まれております。

こうした超高齢社会の中、高齢者

の方々が豊かな知識と経験を活かしながら地域社会の担い手となり、社会を支える一員として活躍できる環境が必要となっております。社会参加を通じて活躍の場を提供している貴センターに寄せられる期待は今後益々大きくなっていくと思っております。

また、全国シルバー人材センター事業協会が策定した「第2次会員100万人達成計画」のもと、「会員拡大・就業機会拡大」に向け、メディアを活用した広報活動等様々な取組を行われていると伺っております。

高齢者の多様な雇用・就業ニーズに応えるため、更なる組織体制の充実へ向け、今後とも事業活動の推進に御尽力いただきますようお願い申し上げます。

市といたしまして、「地域包括ケアシステム」構築に向けた取組の一つとして「高齢者の就労の促進」を掲げ、高齢者の社会参加、健康保持、生きがいづくりを進めてまいります。今後とも皆様方の御支援と御協力を賜りますようお願いいたします。

結びになりますが、諫早市シルバー人材センターの今後益々の御発展と、会員の皆様の御健勝、御多幸を祈念し、新年の挨拶といたします。

令和元年度 委員会名簿

組織対策委員会	委員長	本田 紘	安全対策委員会	委員長	内田 克夫	就業対策委員会	委員長	田中 教一
	副委員長	古賀 純博		副委員長	森野 光春		副委員長	草野 健次
	委員	山永 薫		委員	辻 保		委員	原 直義
	"	東川 義範		"	江島 正男		"	山口喜代志
	"	原田 紀夫		"	松本 幸治		"	吉岡 正氣
"	古瀬 友惇	"	東川 義範	"	前田 幸一			
広報対策委員会	委員長	西尾 正弘	女性事業推進委員会	委員長	本田 捷子	就業適正化委員会	委員長	田中 教一
	副委員長	古野 敦典		副委員長	久保 啓子		副委員長	森野 光春
	委員	米田 正		委員	谷口ひとみ		委員	本田 紘
	"	里村 洋		"	岩本 英子		"	内田 克夫
	"	森 一男		"	坂本美枝子		"	松本 幸治
	"	佐藤 巖		"	平古場貴美子		"	平野 節子
	"	横尾 穰		"	平野 節子			
"	梅本 誠司							

のんのこ 誂早まつり

令和元年9月14日(土)

「のんのこ 誂早まつり」を終えて



実行委員長
田中 教一

秋の風物詩、「2019のんのこ 誂早まつり」が9月13日の前夜祭を皮切りに、14日、15日に開催されました。民謡「のんのこ 誂」に合わせ、商店街から中央交流広場までを練り歩くイベントには約6千名が参加、うち当センターからは122名の参加となりました。皿を打ち鳴らす小気味いい音色が、良く晴れた秋空に吸い込まれていきました。

民謡「のんのこ 誂」は伊勢音頭が源流とされる民謡で、江戸時代から伝わると言われています。両手に2枚の小皿を持って、カチカチと音を鳴らしながら踊ります。「のんのこ」とは、誂早地方の方言で「かわいい」という意味です。

会員同士の交流や、市民の皆さんとの親睦を深めることがまつりに参加する目的で、大いに盛り上がることでセンターの存在が市民の皆さんにご理解頂いたものと思われまます。

今年も暑い中、ご参加頂いた会員の皆さんをはじめ、運営に尽力頂いた事務局の皆さんに深く感謝申し上げます。大変お疲れ様でした。





「シルバー人材センター」 事業普及啓発促進月間

一、目的

シルバー人材センターが果たすべき役割は益々重要になってきています。こうした中で、シルバー人材センター事業の更なる発展、拡充を図っていくためには、事業の理念、施策を広く地域社会に広め、理解と協力を得ることが必要です。

そこで、今年度も全シ協、県連合とも連携し、重点項目を定め、普及啓発活動を推進しました。

なお、今年度においても「**シルバーの日**」を設定し、会員参加型の社会奉仕活動や市民との交流の輪を広げる運動を展開しました。

二、実施期間

令和元年10月1日(火)～10月31日(木)まで

「シルバーの日」10月19日(土)

三、活動

①「**シルバーの日**」を中心に行う活動

○役員等による普及啓発促進月間におけるチラシ等の配布
○ボランティア活動の一斉実施

②月間を通じた事業活動

○会員増強と就業機会拡大のための有機的な運動の展開

●一運動の実施

- ・会員一人ひとりの「ロコミ」による会員の加入促進
- ・会員一人ひとりが就業開拓に努める

●広報紙「のんのこ」の発行

- 安全就業運動の展開
- シルバー人材センター事業への市民への理解と浸透のぼり旗の設置

普及啓発月間キャンペーン

9月13日(金)
のんのご諫早まつり
前夜祭
諫早文化会館

9月14日(土)
のんのご諫早まつり
アエル中央商店街、
中央交流広場

マスク(チラシ入り)を配布しました。

【普及啓発スローガン】

シルバーに
任せて安心、生き生きライフ

剪定班による新人会員技能講習会を実施しました



11月7日、森山支所前にて剪定班
新入会員技能講習会を実施しました。
秋晴れの下、有意義な講習会となりました。

剪定班では、随時会員募集中です。
興味のある方は是非!!



会員の広場

私のシルバー人生



多良見地区

久保 啓子

私は、シルバー人材センターにお世話になり11年になります。子育ての講座を受講して会員になり、現在の子育て支援班を立ち上げ、沢山の仲間が出来ました。当初は細々と「おばあちゃんと孫の遊び場」のような、ほのぼののんびりとした空間でした。現在は立ち上げ当初と違い、保育士の経験者や様々な資格を持った人達が増えてきました。

私は資格を持ちません。ただ子供の頃から弟の子守り、我が子育てや孫の子守りを買って出て、日曜日だけが休みの子守り・子育て

てをしてきました。当時、いま私達が年に9回開催している「のんの子」のような子育てサロンがあればいいのに、と思っていました。あの頃の苦労を思い出し、困っているお母様がいらつしやればお手伝いしたいと思っていますが、シルバー人材センターの子育て支援班を知る方が少ないのが現状です。

しかし、子育て支援の仕事は簡単ではありません。お客様の、大切なお子様の子守りを手伝うだけではありません。大切な宝物を預からせていただくのです。お金に変えられないもので、あまりお仕事はありません。少し前までは、沐浴が主なお仕事でした。現在は幼稚園の集まりのときなどに、下の小さなお子様を見守るお仕事がありますが、お母さんと離れるのが辛かったり、なかなか懐けずに泣き出す子供さんを、70歳

を過ぎた私達がお世話するのはかなり無理があるようです。我が子でさえ大変だったのに…でも、かわいい(のんのか)子供さん達です。こんなに幸福な事はありません。

現在、私は世のならいで一人になりました。でも子育て支援班をはじめ、地域の子育てサロンや1歳児・3歳児健診のお手伝い、小学生や老人会との交流等々、大変ですが沢山のお友達に囲まれて、楽しく暮らしています。

「シルバー人材センター、ありがと。」



シルバー人材センター に入会して



南諫早地区

川崎 英明

私は65歳で定年退職し、何もする事が無く1年を過ごしていました。

ある日、妻から「このままでは体に良くない。何かした方がいい」と言われ、ちょうどその頃に入会説明会のチラシがあり出席しました。会場で会った知人が剪定班に入るとの事で、私も入ることになりました。全く何も知りませんでした。が、「大丈夫、すべて先輩が教えてくれる」との事でした。入会してすぐ仕事に呼ばれ、慌てて必要な道具を購入しました。

現役時代とは全く違う仕事に戸惑いながら、少しずつ覚えていきました。毎日違う現場で、家主

の方の要望に応じて仕事を終え、大変きれいになったと感謝され、また休職時には会員の方々のこれまでの話を聞くことができ、面白く和気あいあいと仕事ができ、面々と入会してよかったです。思っています。

11月で2年目となりましたが、まだ知らない樹木や花の名前がたくさんあります。早く一人前になって足手まといにならないように頑張ります。



明峰地区
中里 有三

今の楽しみ

私は平成30年1月に退職し、サラリーマン生活から解放され自分の時間ができました。暫くは何もせず、ゆっくり過ごそうかと思いましたが、先輩方の勧めもあり地

域交流の機会と捉え、平成30年4月からセンターへ入会させて頂き2年目を迎えました。

現在は「施設管理班」に所属し、昨年からは夏場のプール管理の仕事を通して、孫のような子供たちと接し元気をもらっています。

同じシルバーの方や、就業先の方々とも知り合うことができました。その一方で、自由な時間で趣味を楽しんでいます。まずひとつは30代から続けているゴルフです。月に数回、仲間たち

とラウンドしていますが中々上達しません。ゴルフは年季とは関係ないようです。また今年からルールが変わり、グリーン上でピンクラブを立てたまま、バットが出るようになった為、目標が解りやすくなりバット数が減りました。それに時間短縮にもなるようです。もうひとつはサッカー観戦です。V・ファアレン

長崎のホーム戦は、毎試合欠かさずトラスターへ駆けつけています。最近では、レンタル選手を補強したので得点が増えています。J1復帰を目指し、監督の手腕と選手の奮闘に期待しています。これからも、自由な時間と人との出会いを大切にしていきたいと思えます。



自然をうやまい、自然のままに



北諫早地区
那須 秀樹

近年、特に夏の異常気象には困惑している。連日の熱中症危険警報発令、猛烈な台風や記録的豪雨の頻発である。更に、年間を通し

て季節の変わり目にズレが生じ、季節感も判然としなくなった。原因は地球温暖化のこと。世界単位でCO₂排出規制、省資源等で食い止めようとしているが効果は厳しいらしい。私たち一人ひとりも、真剣に実行する時期に既にきているというわけだ。ちなみに私の日記帳では、一昨年8月の熱中症危険警報は19日発令、昨年は一転して雨の日が13日発生し、その影響で就労日数も4日止まりとなった。

ところで諫早市の観光シンボルといえば、諫早公園にある「眼鏡橋」。その周囲で、私は公園美化班の一員として就労させてもらっている。城山全体が「諫早市城山暖地性樹叢(じゅそう)」として国の天然記念物に指定されているので、許可なく伐採等は出来ない。そのおかげもあり落葉や雑草等との格闘はあるが、

作業しながら四季の移ろいを五感で感じる。

昨年は異常気象のなか、台風の影響もあり時季外れの落葉等に悩まされた。何時もきれいな公園であつて欲しいのだが、就労区域が広すぎるため到底維持が出來ず、残念である。自然の力には太刀打ちできないが、観光客が見る当たり前の風景が当たり前ではないのが心苦しい。一人抗つてもどうしようもない。自然のままに、それも風情があつて良いのだらうか。

最後に、男性の健康寿命は約72歳（女性は約75歳）と言われている。働ける身体、環境に感謝しながら健康増進・維持のため、併せてボランティア活動で社会に貢献しながら、今しばらくシルバー人材センターにお世話になるうかと思つている。

特定健診は受けましたか？



真津山第一地区
馬渡 善人

私は毎年、一月頃から諫早市の委託により、特定健診未受診者に訪問活動を行つておりました。しかし、当の本人が特定健診を受診していないことには話にならないと思ひ、家内と二人で受診しました。その結果、健康に自信のあつた私が健診に引つ掛かり、専門医を受診することになりました。幸いなことに、指摘された血糖値については特に治療は要さず、ただ尿に潜血があり、膀胱や腎臓に癌の疑いありとの診断が下され、諫早総合病院の泌尿器科を受診することとなりました。それでも潜血の原因は判明せず、急ぎよ血管造影剤によるCT検査が実施され

ました。その結果、動脈瘤が腸骨動脈に発見されました。長崎大学病院か、大村医療センターで手術するよう診断が下されました。山登りをしておりましたので、動脈瘤は爆弾を抱えているようなもので、死を覚悟しなければなりません。幸ひ、この動脈瘤は一年前に手術を行い、無事完治しました。ところが師走のある日、動脈瘤手術の執刀医から膀胱に癌が発見されたと直接電話がありました。青天の霹靂でした。術後のCT画像のチェックで発見されたそうです。その後は検査入院を経つて、膀胱の摘出手術となりました。八千草薫さんのように、癌の転移が心配されるのですが神に祈るしかありません。

余命はあと一年か三年、五年なのか分かりませんが、限りある命を精一杯生きたいと思つています。

蠟燭の如く限られた命を如何に燃え尽きるか、毎日が挑戦です。家族及びシルバー人材センターの仲間や、短歌・油絵・山登り・木彫等のサークル仲間が支えてくれます。有り難いことです。

毎年の特定健診は是非受けていただきたい。自覚症状がない場合、身体の悲鳴は聞こえません。悲鳴は検査による数値が端的に示してくれます。身体に痛みなどが出てくれば、それは重篤な時かも知れません。

最後に一首。「造影剤は血管の中を駆け巡り 悪しきところを我に知らしむ」



ボランティア活動実施状況

地域班 (ボランティア活動一斉実施)

期 日	職群班名	実施場所	作業内容	参加人数
9月 7日	真津山第1地区第3班・第4班	小船越町公民館	剪定・除草・清掃	8
9月 8日	北諫早地区第1班・第5班	福田町公民館	除草・清掃	10
9月27日	明峰地区第3班	西栄田バス停周辺	空き缶拾い	4
9月28日	真津山第1地区第1班	久山歳神社	除草・清掃	7
10月 6日	南諫早地区	諫早市社会福祉会館	除草・清掃	22
10月13日	有喜地区	有喜ふれあい会館	機械刈り	5
10月13日	森山地区	森山支所	除草・清掃	17
10月15日	西諫早地区	西諫早ふれあい会館	除草・清掃	10
10月18日	真津山第1地区第2班	貝津歳神社	除草・清掃	14
10月19日	明峰地区第4班	本野ふれあい会館	除草・清掃	6
10月19日	小栗地区	小栗ふれあい会館	除草・清掃	22
10月19日	真津山第2地区	JR西諫早駅前広場	除草・清掃	23
10月19日	多良見地区	長崎原爆諫早病院	除草・清掃	48
10月20日	北諫早地区第2班・第3班	百日紅苑	除草・機械	18
10月20日	北諫早地区第4班	目代公園	除草・清掃	6
10月20日	長田地区	長田みのり会館	剪定・機械・除草	15
10月25日	小長井地区	おがたまの木	機械・除草	25
10月26日	明峰地区第1班	八天神社	除草・清掃	6
10月26日	高来地区	高来支所	機械・除草	12
10月27日	小野地区	小野小学校	除草・清掃	23
10月28日	飯盛地区	月の丘公園	除草・清掃	7
11月10日	明峰地区第2班	栄田公園	除草・清掃	14
合計				322

剪定班・機械刈り班・緑化班

11月11日山茶花高原での作業風景



職群班 (令和元年度)

期 日	職群班名	実施場所	作業内容	参加人数
4月17日	緑化班	諫早市サッカー場駐車場	除草	27
5月10日	子育て支援班	福田作業所	親子サロン	12
5月22日	家事援助友愛班	干拓の里	屋内清掃・除草	11
5月22日	剪定班	干拓の里	剪定	42
5月22日	機械刈り班	干拓の里	機械刈り	19
5月22日	緑化班	干拓の里	除草	64
6月 5日	機械刈り班	森山町ラグビー場	機械刈り	18
6月 6日	剪定班	市役所前	剪定	4
6月 7日	子育て支援班	中会議室	親子サロン	12
7月 5日	子育て支援班	福田作業所	親子サロン	12
7月11日	公園美化班	干拓の里	除草・清掃	60
8月 2日	子育て支援班	中会議室	親子サロン	10
9月20日	緑化班	多良見支所及び周辺	除草・清掃	62
10月 4日	子育て支援班	中会議室	親子サロン	13
11月 1日	子育て支援班	第2会議室	ごみ入れ作成他	11
11月 6日	家事援助友愛班	市役所周辺及び河川敷	ごみ拾い	13
11月 7日	剪定班	市役所前	剪定	4
11月11日	剪定班	山茶花高原	剪定	36
11月11日	機械刈り班	山茶花高原	機械刈り	36
11月11日	緑化班	山茶花高原	除草	58
11月11日	機械刈り班	森山町下井牟田	機械刈り	18
11月11日	公園美化班	なごみの里運動公園、たらみ図書館	除草・清掃	73
11月11日	山茶花高原班	山茶花高原	職群班活動後の片付け	7
11月23日	緑化班	中央交流広場	灯りファンタジア	30
				合計 652





古希(数え70歳)	昭和26年生まれ	24名
喜寿(数え77歳)	昭和19年生まれ	48名
傘寿(数え80歳)	昭和16年生まれ	34名
米寿(数え88歳)	昭和8年生まれ	3名
卒寿(数え90歳)	昭和6年生まれ	0名

長寿の祝いには、還暦から古希・喜寿・傘寿・米寿・卒寿と続きます。令和2年中に長寿の祝いを迎えられる会員さん達を調べてみました。



賀寿・長寿の祝いについて



上記の通り、109名の会員さんがお祝の年を迎えられます。米寿の3名をはじめ多数の方が諫早市シルバー人材センターの会員として、現役で就業されています。生涯現役!! 無理のないように、元気で楽しく就業していくことができるように応援致します。

事務局伝言板

配分金収入等に対する所得税の取り扱いについて

シルバー人材センターで得た配分金収入等に対する所得税の取り扱いは、以下のとおりです。(令和元年)

- 配分金収入は、所得税法上「雑所得」に区分されます。雑所得の金額は、原則として雑所得の総収入金額から必要経費を控除した額です。したがって、配分金収入に係る必要経費の額が65万円以上ある場合、配分金収入から必要経費の全額を控除できます。
- しかし、必要経費の額が65万円未満の場合「租税特別措置法」第27条の適用により、65万円を上限として控除できます。(ただし、収入金額を限度とします。)
- 公的年金を受給している会員は、配分金収入とは別に公的年金等控除を行います。
- 給与収入がある会員は、最低65万円(ただし収入金額を限度とします)の給与所得控除が受けられますが、その場合、配分金収入に係る控除額は、65万円から給与所得を控除した残額が限度です。

配分金支払証明書が必要な方は、会員証を持参の上(本人確認の為)、事務局まで取りに来てください。(1月25日以降にお願いします。)

就業報告書提出は早めに!!

1. 就業がすんだら直ちに事務局へ提出して下さい。
2. 月末まで就業された時でも、翌月3日までには必ず提出してください。

* 提出が遅れると、発注者への請求や会員さんへの配分金支払いが遅れます。

就業月	配分金支払日
12月分	1月24日
1月分	2月25日
2月分	3月25日
3月分	4月24日
4月分	5月25日
5月分	6月25日

おくやみ

令和元年10月
高来地区 第1班

久保 正 さん

編集後記

多良見地区 横尾 穂

令和に入り、初めての新しい年を迎えました。即位の礼に伴う様々な行事も、国民喜びの中に終わりました。お天道様も、祝賀パレードでは最大の祝福をしてくれました。今年は災害の無い年になるようお願いいたしますね。

「のんのこ」七十四号を発行するにあたり、宮本市長ならびに西原理事長よりお祝いと励ましの言葉を頂き、ありがとうございます。

広報対策委員も私を含め、三名が交代しました。編集会議を進め会員の皆様に寄稿をお願いし、作成いたしました。表紙や配列、区割等これほど難しいとは思いませんでした。会員皆様からの寄稿が一段と映えるように配慮しておりますが、まだまだで申し訳ありません。

今後も皆様からの寄稿(俳句、川柳・エッセイ等々)を頼り、相互の融和と共助のため、及ばずながら努めたいと思います。お願いに伺った際は、よろしくご協力ください。

表紙の写真は、シルバー人材センター「写真同好会」メンバーが撮影